



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 ザインエレクトロニクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6769 URL <https://www.thine.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南 洋一郎 TEL 03 (5217) 6660
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 山本 武男 配当支払開始予定日 —
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	1,864	21.8	128	—	270	—	233	—
2020年12月期第2四半期	1,531	△27.0	△231	—	△225	—	△170	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 307百万円 (—%) 2020年12月期第2四半期 △226百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	21.60	—
2020年12月期第2四半期	△15.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	9,230	8,518	90.1
2020年12月期	8,786	8,300	92.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 8,315百万円 2020年12月期 8,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 当社の2021年12月期の期末配当金は、1株当たり普通配当金9円に創立30周年記念配当金として3円を加えた12円としました。

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,349	51.0	62	—	66	—	56	—	5.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	12,340,100株	2020年12月期	12,340,100株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	1,530,037株	2020年12月期	1,530,037株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	10,810,063株	2020年12月期2Q	10,810,068株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の終息が見えない中、企業活動の制約や緊急事態宣言の再発令等による個人消費の落ち込みにより企業収益の悪化が見られ、経済活動の停滞が懸念され先行きの不透明感が継続しております。

このような環境の下で、当社グループは前期より開始した2022年を目標年次とする中期経営戦略「5G&Beyond」を進めております。5GおよびBeyond5Gも視野においた戦略5ゴールを設定し、それらを通じた成長ユースケースで生み出す粗利金額の倍増を目標とし、また更に戦略5ゴール目標を超えた長期成長に向けたスマート・コネクティビティによるソリューションの提供に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、LSI事業では主に国内および中国市場を中心とした海外市場向けにおいて急速な回復と成長を実現し、前期比77%の増加（新型コロナウイルス感染症拡大の影響以前の前々期比でも13%の増加）となりました。一方、AIOT事業では一部顧客向けの製品出荷の後倒しや計画の見直し等の影響により当初の見込みを下回って推移しました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、18億64百万円（前期比21.8%増）となり、売上総利益は10億94百万円（前期比43.5%増）となりました。

販売費および一般管理費については、前期より引き続き新しい市場のニーズに対応するための積極的な研究開発投資（3億95百万円、前期比0.6%減）を行う一方で、本年1月より本社オフィス面積の約4割削減等をはじめとするコスト削減を進めた結果、販売費および一般管理費全体として、9億66百万円（前期比2.8%減）となりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は1億28百万円（前期は営業損失2億31百万円）となりました。

また為替相場が前期末比で円安に推移したため、主に現預金等の保有外貨建て資産の換算差益として為替差益1億38百万円を計上したこと等により、経常利益は2億70百万円（前期は経常損失2億25百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億33百万円（前期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億70百万円）となりました。

(セグメント別の状況)

当社グループは、LSI事業とAIOT事業を軸として事業活動を推進しており、これらを事業セグメント区分としております。

(単位：百万円)

		2021年12月期 第2四半期	2020年12月期 第2四半期	増減率 (%)
LSI事業	売上高	1,464	829	+76.5
	営業利益	202	△223	—
AIOT事業	売上高	400	701	△42.9
	(参考) のれん償却前営業利益	△9	57	—
	営業利益	△74	△7	—
合計	売上高	1,864	1,531	+21.8
	営業利益	128	△231	—

※セグメント間の取引を相殺消去後の金額で記載しております。

(LSI事業)

当第2四半期連結累計期間のLSI事業の売上高は、厳しい環境下ながらも営業と生産を一体とした事業運営の下、前期の落ち込みから急速に回復し、計画を上回る成長を実現しました。成長トレンドにある産業機器市場および車載機器市場での伸展・成長もあり、新型コロナウイルス感染症拡大以前の前々年同期（2019年）と比較しても13%の成長を実現することができました。

産業機器市場向けビジネスは、前期苦戦したOA機器向けおよびアミューズメント機器向けの製品出荷が厳しい環境下ながらも大幅に改善しました。また、海外における産業機器市場の成長トレンドを捉え、中国・台湾・韓国等のアジア市場および北米市場向けの出荷が好調な伸展となった他、グローバルECサイトを活用した小型4Kカメラ等のキット製品（新規設計不要で直ちに使用可能な製品）を販売しました。これらの結果、同市場向けの売上高は、LSI事業の売上全体の61%を占め、前期比では85%増と大幅に増加しました。

車載機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の25%を占めております。国内市場およびEV化が進む中国市場を中心とした海外市場向けの車載純正品市場およびアフター市場向けともに当社の高速情報伝送用LSI製品の出荷が成長トレンドの下で増加し、前期比59%の大幅な増加となりました。

民生機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の14%を占めております。主にアジア市場向けの製品出荷が堅調に推移したことに加え、中国の高精細テレビ市場向けに当社独自技術V-by-One[®]HS技術のライセンス料収入を得

ることができたこと等により前期比64%の増加となりました。

これらの結果、LSI事業全体の売上高は新型コロナウイルス感染症拡大以前の前々期比13%増加となる14億64百万円（前期比77%増）、売上総利益は前々期比14%増加となる9億35百万円（前期比81%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、前期より引き続き新しい市場ニーズに対応した研究開発を積極的に実施しました。車載カメラ、医療用カメラ等のニーズに対応するための高速インターフェースV-by-One[®]HS新製品ラインアップや4Kカメラキット画像処理ソリューションの開発、5Gを遥かに超える次世代高速無線通信技術の開発等を行い、研究開発費3億70百万円を計上しました。

これらの結果、LSI事業の当第2四半期連結累計期間における営業利益は2億2百万円（前期は営業損失2億23百万円）となりました。

（AIOT事業）

当第2四半期連結累計期間のAIOT事業の売上高は、一部の顧客向けの製品出荷の後倒しや計画見直し等により通信モジュール製品の出荷が計画を下回って推移した一方、昨年より販売を開始したゲート型やサイネージ型の非接触型AI顔認証検温システムの販売を継続しました。これらの結果、AIOT事業の売上高は4億円（前期比43%減）、売上総利益は1億59百万円（前期比36%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、AI・IoTを活用する新ニーズの拡大や第5世代移動通信（5G）による新しいアプリケーション市場の拡大を見据えたAI・IoTソリューションの開発に取り組み、エッジAI処理用モジュール製品の開発、新型コロナワクチン対応IoT温度監視システム開発や通信型ドライブレコーダなどに向けた研究開発を行い、全体として研究開発費25百万円を計上いたしました。また、同事業のM&A取得に伴うのれんの償却額として65百万等を計上しました。

これらの結果、AIOT事業の当第2四半期連結累計期間における営業損失は74百万円（前期は営業損失7百万円）となりました。なお、前述ののれん償却前の営業損失は9百万円（前期はのれん償却前営業利益57百万円）となります。

※「V-by-One」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

（2）財政状態に関する説明

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における、営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益を3億5百万円計上した一方、売上債権が1億58百万円増加し、為替差益を1億23百万円計上したこと等により1億19百万円のプラスとなりました。（前期は82百万円のマイナス）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、投資有価証券の売却による収入等により5億14百万円のプラスとなりました。（前期は16億6百万円のプラス）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払等により97百万円のマイナスとなりました。（前期は97百万円のマイナス）

これらの結果により、現金及び現金同等物は全体として6億77百万円増加して当第2四半期連結会計期間末残高は74億9百万円となりました。当社グループとしては、機動的な研究開発リソースの確保やM&Aの機会に迅速に対応できるよう内部留保を厚くする方針であり、資金運用に関しても流動性を重視した運用を行うこととしております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績改善傾向は今後も継続すると見込まれますが、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による業績への影響を現時点で見通すことは困難であるため、業績予想に反映することができません。このため、2021年12月期の連結業績予想につきましては、2021年2月5日に公表した業績予想からの変更をしておりません。今後、業績への影響を慎重に見極め、業績予想の修正開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

また、当社は、経営基盤の一層の強化と今後の積極的な事業展開に備えるために内部留保の充実を重視しておりますが、株主の皆様への積極的かつ安定的な利益還元を重要な経営課題の一つと認識しております。

当社は創立30周年を迎え、当期業績の急速な回復と成長傾向の下、株主の皆様へ感謝の意を表すとともに、創立30周年を記念いたしまして、期末配当において1株当たり3円の記念配当を実施させていただくことといたしました。この結果、2021年12月期の1株当たりの期末配当金は、普通配当9円に記念配当3円を加え、12円とさせていただきます。

詳細につきましては、本日公表しました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,732,242	7,409,344
売掛金	352,701	506,395
商品及び製品	183,198	241,104
仕掛品	62,953	113,690
原材料	70,313	69,523
その他	315,840	294,270
流動資産合計	7,717,251	8,634,330
固定資産		
有形固定資産	112,782	106,640
無形固定資産		
のれん	391,018	325,849
その他	6,400	6,335
無形固定資産合計	397,419	332,184
投資その他の資産		
投資有価証券	457,803	56,606
繰延税金資産	19,136	18,737
その他	82,161	82,296
投資その他の資産合計	559,101	157,639
固定資産合計	1,069,303	596,464
資産合計	8,786,554	9,230,794
負債の部		
流動負債		
買掛金	119,727	272,014
未払法人税等	2,629	82,751
賞与引当金	2,157	42,728
製品保証引当金	2,418	2,418
その他	228,274	182,109
流動負債合計	355,207	582,022
固定負債		
退職給付に係る負債	19,052	19,624
資産除去債務	26,119	26,227
その他	85,862	84,491
固定負債合計	131,035	130,342
負債合計	486,242	712,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,175,267	1,175,267
資本剰余金	1,286,608	1,286,608
利益剰余金	7,954,809	8,090,976
自己株式	△2,291,902	△2,291,902
株主資本合計	8,124,781	8,260,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△68,396	—
為替換算調整勘定	47,366	54,065
その他の包括利益累計額合計	△21,030	54,065
新株予約権	167,235	174,283
非支配株主持分	29,323	29,130
純資産合計	8,300,311	8,518,429
負債純資産合計	8,786,554	9,230,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,531,269	1,864,973
売上原価	768,627	770,423
売上総利益	762,641	1,094,550
販売費及び一般管理費	993,866	966,366
営業利益又は営業損失(△)	△231,224	128,183
営業外収益		
受取利息	4,640	740
受取配当金	12,934	969
為替差益	—	138,412
投資事業組合運用益	10,422	—
雑収入	9,657	2,974
営業外収益合計	37,655	143,096
営業外費用		
為替差損	32,342	—
投資事業組合運用損	—	1,221
雑損失	45	39
営業外費用合計	32,387	1,260
経常利益又は経常損失(△)	△225,956	270,019
特別利益		
投資有価証券売却益	79,900	27,067
新株予約権戻入益	36	8,538
特別利益合計	79,936	35,605
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△146,020	305,624
法人税、住民税及び事業税	10,372	72,896
法人税等調整額	4,572	398
法人税等合計	14,944	73,295
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△160,965	232,329
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9,505	△1,127
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△170,471	233,457

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△160,965	232,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57,393	68,396
為替換算調整勘定	△8,009	6,699
その他の包括利益合計	△65,403	75,095
四半期包括利益	△226,368	307,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△235,769	307,618
非支配株主に係る四半期包括利益	9,400	△193

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△146,020	305,624
減価償却費	14,720	13,279
のれん償却額	65,169	65,169
株式報酬費用	25,064	15,586
新株予約権戻入益	△36	△8,538
賞与引当金の増減額(△は減少)	△34,788	40,571
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,428	571
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,977	—
投資事業組合運用損益(△は益)	△10,422	1,221
投資有価証券売却損益(△は益)	△79,900	△27,067
受取利息及び受取配当金	△17,575	△1,709
支払利息	45	39
為替差損益(△は益)	25,800	△123,745
売上債権の増減額(△は増加)	477,789	△158,598
たな卸資産の増減額(△は増加)	△103,342	△108,745
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△131,689	△46,699
仕入債務の増減額(△は減少)	△94,596	151,927
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△27,465	△31,109
その他	203	139
小計	△50,448	87,918
利息及び配当金の受取額	18,385	1,757
利息の支払額	△45	△39
法人税等の支払額	△50,578	△3,784
法人税等の還付額	—	33,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	△82,686	119,336
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△9,134	△3,597
資産除去債務の履行による支出	—	△7,546
敷金の差入による支出	△960	△185
敷金の回収による収入	1,170	30,923
投資有価証券の売却による収入	1,599,190	482,017
投資有価証券の償還による収入	3,876	3,876
投資事業組合からの分配による収入	12,700	9,200
その他	△515	271
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,606,327	514,960
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△97,290	△97,290
その他	△127	△100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,417	△97,390
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35,875	140,197
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,390,347	677,102
現金及び現金同等物の期首残高	5,329,928	6,732,242
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,720,275	7,409,344

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。